

Akihabara  
Town  
Management  
Organization.

アキバに出会う、  
アキバと歩む。



## アキバに出会う、アキバと歩む。

発行年月：2023年8月

デザイン：一般社団法人ソトノバ

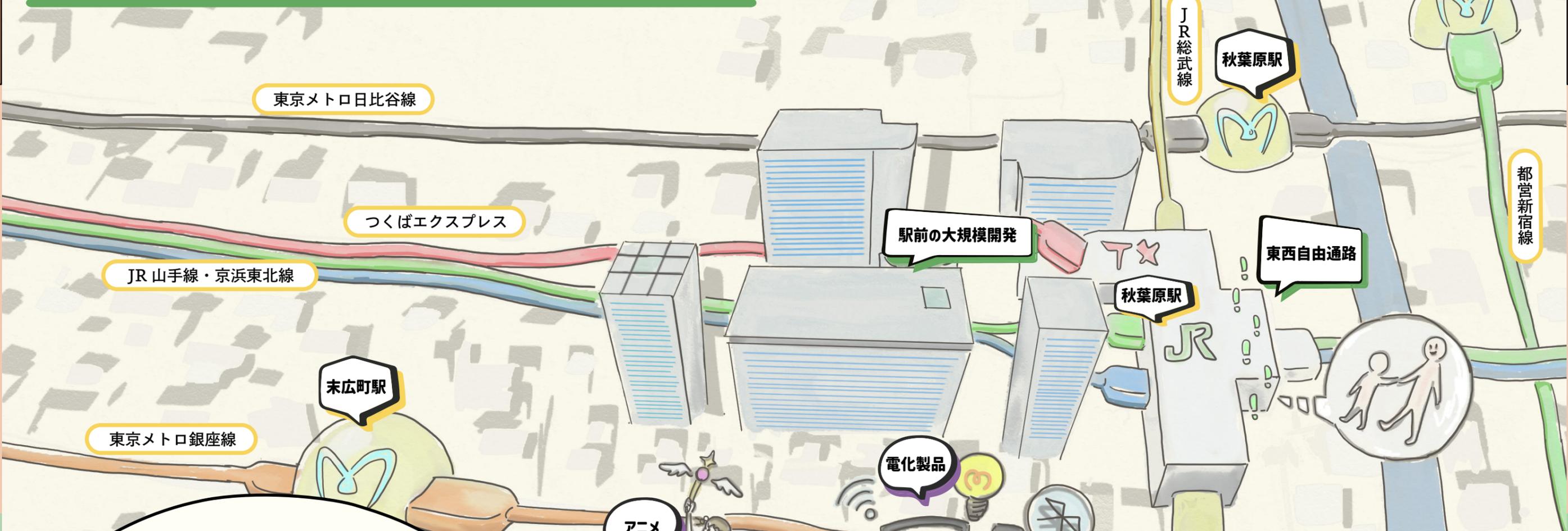
(上杉真子 / 佐藤颯人 / 松岡絢加 / 長谷川碧 / 河上朝乃 / 秋元友里 / 矢野拓洋)

イラスト：矢野翔史

表紙写真：水津拓海

編集・発行：秋葉原タウンマネジメント株式会社

# 人・もの・文化・情報が集積するアキバ



## 秋葉原のまちの3つの特性

### 駅前の大規模開発

神田青果市場・国鉄貨物駅舎跡地の大規模開発により、公開空地や駅前広場、歩行者ネットワークの整備などが進められた。緑地や公園が少なかった秋葉原に大きな広場空間が生まれ、まちの快適性、賑わいの創出に貢献している。

### 文化創造都市

戦後から日本を代表する電気街として大きな発展を遂げてきたが、その後、アニメやゲーム、フィギュア、コミックなどのサブカルチャーが重層的に集積し、国際的にも知名度の高い観光都市となっている。

### 交通の要衝

JR では山手線・京浜東北線・総武線、東京メトロでは銀座線・日比谷線、都営地下鉄では新宿線、そして2005年にはつくばEXが開業し、鉄道7線が乗入れる都内でも屈指の交通の要衝である。



どのようにして今日のような秋葉原が形成されたのでしょうか？  
そしてどのようにして秋葉原TMOが生まれたのでしょうか？

詳しくは  
**P.13**

概要編 p.1-2 まちの特性 p.3-4 TMOバリエーション p.5-6 TMO活動マップ p.7-8 まちの組織 p.9 TMOビジョン  
詳細編 p.13-15 TMO設立経緯 p.16 TMO事業原則 p.17-22 TMO事業詳細 p.23-24 事業連携体制

概要編 p.1-2 まちの特性 p.3-4 TMOバリエーション p.5-6 TMO活動マップ p.7-8 まちの組織 p.9 TMOビジョン  
詳細編 p.13-15 TMO設立経緯 p.16 TMO事業原則 p.17-22 TMO事業詳細 p.23-24 事業連携体制

「世界のアキバ」だからこそ「居心地の良い空間」をつくりたい

秋葉原は、交通の要衝というポテンシャルを活かし「人・もの・文化・情報が交流する市場」として、「時代の変化を受け止めつつ異文化を共存させる“懐の深さ”」を持ち合わせながら、まさしく「世界のアキバ」として発展してきた文化創造都市です。

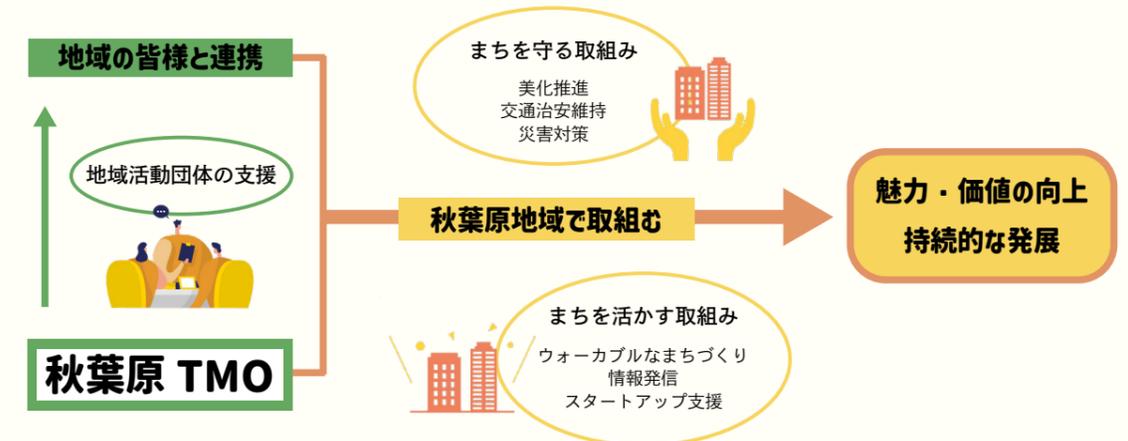
私たちは、このまちのさらなる発展に向け、公共空間や歴史的・文化的資源、まちなかの活動といった、官民の「地域資源」を活用し、「世界のアキバ」に、多様な人々の出会いや交流が生まれる「居心地の良い空間」をつくってまいります。



地域における私たちの役割

まちは「人と人」「人とももの」「ものとももの」それぞれが互いに情報を持ち、つながり、共有しあって発展していきます。それが魅力となり、価値として形成されていきます。このつながりを醸成し持続的な発展を遂げるまちにすべく、私たちは日々活動しています。

私たちは、すべての人にとって「居心地の良い空間」をつくるため、地域の方々をはじめ各関係機関と連携しながら「まちを守る」「まちを活かす」の2つを軸としたさまざまな活動に取り組んでいます。



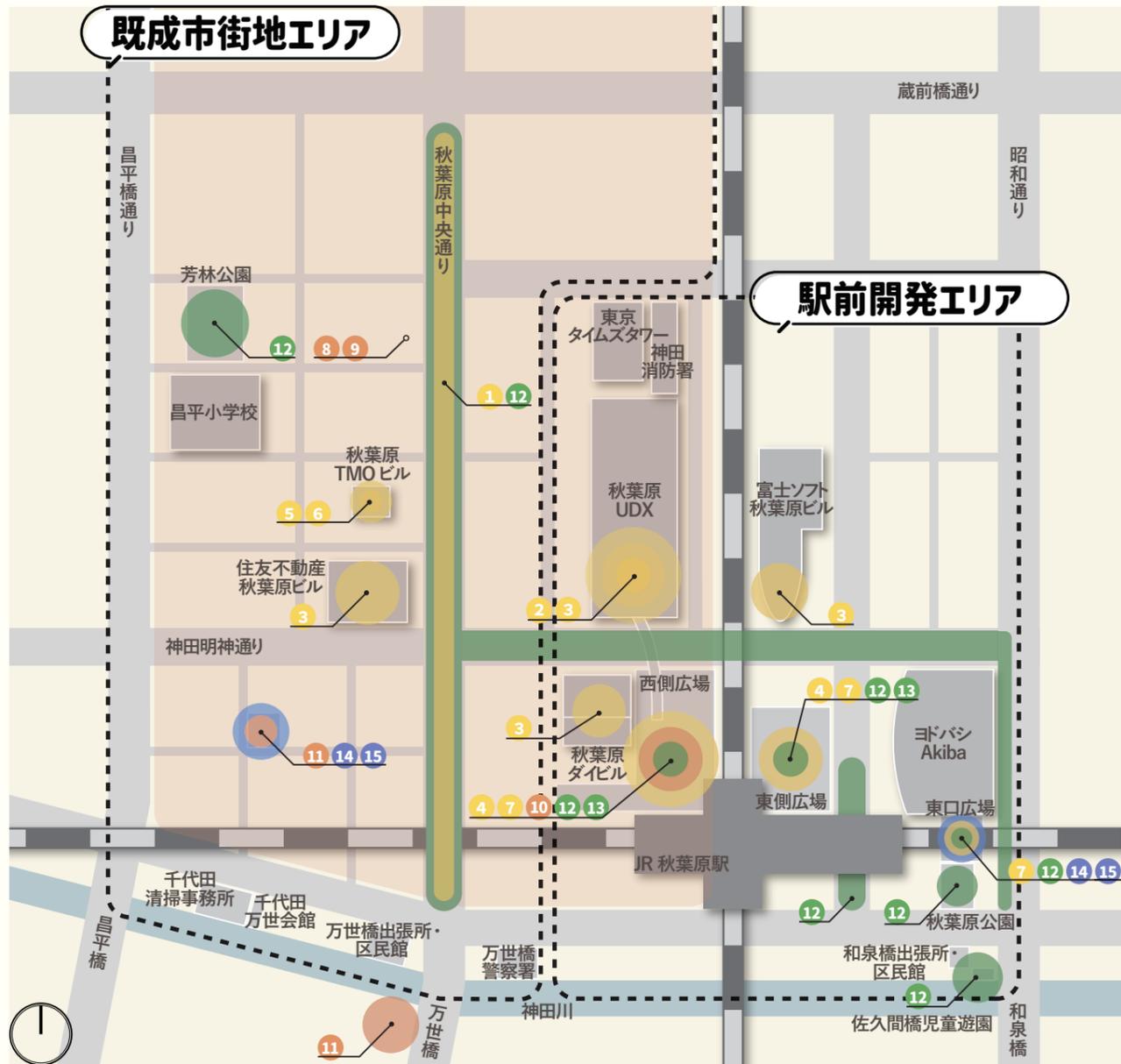
秋葉原 TMO はどんな事業原則や運営の仕組みのもとに活動しているのでしょうか？ [詳しくは P.16](#)

秋葉原TMOは、  
世界のアキバ  
で  
居心地の良い空間  
をつくる会社です。

ここに暮らし、事業を営み、  
働き、学び、訪れるすべての人にとって

# 秋葉原 TMO 活動マップ

概要編 p.1-2 まちの特性 p.3-4 TMO パーパス p.5-6 TMO 活動マップ p.7-8 まちの組織 p.9 TMO ビジョン  
 詳細編 p.13-15 TMO 設立経緯 p.16 TMO 事業原則 p.17-22 TMO 事業詳細 p.23-24 事業連携体制



## アキバを支える事業のすべて



### 事業一覧

- |              |              |              |
|--------------|--------------|--------------|
| 1 歩行者天国運営    | 8 防犯カメラ設置・管理 | 12 清掃活動      |
| 2 アキバ・インフォ運営 | 9 客引き防止パトロール | 13 植栽活動      |
| 3 シャレ街条例活用事業 | 10 防災訓練      | 14 コインロッカー設置 |
| 4 オープンスペース活用 | 11 自動二輪車駐車場  | 15 自動販売機設置   |
| 5 シェアオフィス    |              |              |
| 6 スタートアップ支援  |              |              |
| 7 広告事業       |              |              |

2つのエリアから成り立つ秋葉原を  
15を超える事業で支えています！

## まちの骨格を成す、2つのエリア

秋葉原は、新旧2つのエリアによって構成されており、私たちはその2つのエリアを軸にまちを守り、まちを活かす事業を展開しています。

### 既成市街地エリア 文化創造の源

#### 秋葉原中央通り



秋葉原中央通りはこのまちを代表するメインストリートであり、電気街からサブカルチャーまで、時代を通してまちを彩るアキバの象徴的存在です。毎週日曜日に行われる歩行者天国は、延長570m、幅員36m、約2haの都心に現れる巨大な都市空間で、自由にまち歩きやショッピングが楽しめる公共空間活用の代表的な施策です。

### 駅前開発エリア まちの玄関

#### 秋葉原駅西側広場



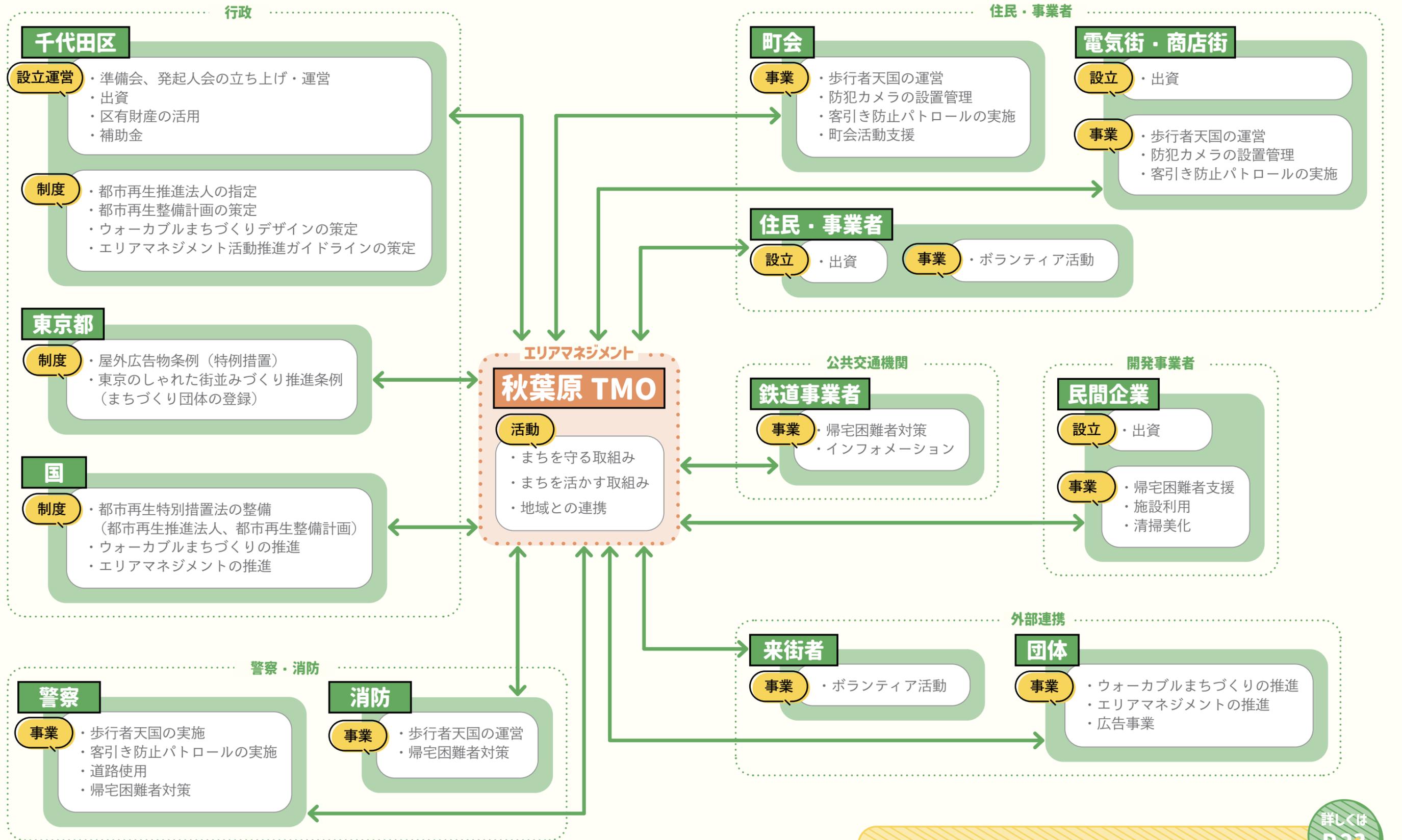
秋葉原駅前の大規模開発により、多数の大型ビルが建設されるとともに、つくばエクスプレスの乗入れ、JR秋葉原駅の改良、公開空地や駅前広場、歩行者ネットワークなどの都市インフラが整備されました。駅前の広場空間は、まちの玄関口として利便性や快適性の向上、賑わいの創出に役立っています。

実施されている各事業について、もっと詳しく見てみましょう！

詳しくは  
P.17

# 居心地の良い秋葉原をともに作る仲間

私たちが活動する上で不可欠なのが、地域を構成する多様な組織・団体の方々との連携です。会社設立に当たって 出資や立ち上げのご協力を頂いたり、他の組織・団体ごとの強みを活かしつつ、ヨコの連携を大切にさまざまな事業に取り組んでいます。



各事業は、組織間で具体的にどういった分担で行われているのでしょうか？

詳しくは P.23

概要編 p.1-2 まちの特性 p.3-4 TMO パーパス p.5-6 TMO 活動マップ p.7-8 まちの組織 p.9 TMO ビジョン 詳細編 p.13-15 TMO 設立経緯 p.16 TMO 事業原則 p.17-22 TMO 事業詳細 p.23-24 事業連携体制

概要編 p.1-2 まちの特性 p.3-4 TMO パーパス p.5-6 TMO 活動マップ p.7-8 まちの組織 p.9 TMO ビジョン 詳細編 p.13-15 TMO 設立経緯 p.16 TMO 事業原則 p.17-22 TMO 事業詳細 p.23-24 事業連携体制

## アキバに会う、アキバと歩む。

### 安心安全に過ごせるまちづくり



#### ▶ これまでの歩み

移り行く時代の中で大きな変化を遂げた秋葉原。そんなまちの変化に合わせ、私たちはこれまで、みんなが安全・安心に過ごせるまちづくりに取り組んでまいりました。さまざまな活動は着実に続けることによって、まちに定着し、アキバとともに歩むことにつながりました。そして今、私たちは「誰もが居心地よく過ごせるまち」を目指して、次のステップに向けて動き出しています。

### 歩いて楽しいウォーカブルなまちへ



#### ▶ アキバに会う、アキバと歩む。

まちの魅力を高めるのに欠かせないのが「人」。人と人が出会い、新たな文化が生まれ、まちは発展していきます。私たちが目指すのは、そうした新たな出会いや交流の場を創出すること、すなわち、居心地が良く歩いて楽しい「ウォーカブルなまちづくり」です。そんな思いをこめて、これからもアキバとともに歩んでいきます。

### あなたとともに歩みたい



#### ▶ あなたとともに、誰もが居心地良く過ごせるまちをつかっていく

私たちは、これまでも、そしてこれからも、秋葉原地域発展のため、多様な人々の出会いや交流が生まれる「居心地の良い空間」をつかっていきます。まちをずっと見守ってきた人、まちの魅力を創ってきた人、そして、これからのまちを担っていく人と“ともに”。

## コラム

### 世界のアキバでつくる「居心地の良さ」ってなんだろう？

秋葉原には、多様なステークホルダーがいます。

ここで暮らす人、事業を営む人、働きに来る人、学びに来る人、そして秋葉原の文化に触れに、世界中からこのまちを訪れる人・・・人によって、秋葉原に抱く思いはさまざまです。

しかし、居心地という点についてはどうでしょう。たとえ思いや価値観が違ったとしても、誰もが安心して居心地の良さを感じられたとき、人はありのままの自分でいられ、ありのままの他者と交流することができるのではないのでしょうか。すなわち、誰もが安心してこの空間にいて、居心地の良さを感じるということは、同じ空間にいる他の人の存在も認め合うことであり、ひいては異文化を認め合うことです。

秋葉原は、「人・もの・文化・情報が交流する市場」として、時代が大きく変化する中で、異文化を受入れながら「世界のアキバ」へと発展を遂げてきたまちです。このことは、このまちが持つ潜在的な土壌や懐の深さがあるからこそ成し得たものではないのでしょうか。

私たちは、世界の人々が注目するアキバだからこそ、異文化を認め合える「居心地の良さ」が大切だと思っています。

今、秋葉原地域を含め、千代田区全

体でウォーカブルなまちづくりが進められています。

このまちづくりは、官民が連携して、地域に存在するパブリック空間、沿道建物、地域の歴史や文化、まちなかの活動、空間の設えといった「ウォーカブルな要素（地域資源）」を活用し、居心地の良い「滞留」しやすい空間、歩いて楽しい「回遊」しやすい空間をつくり、多様な人々の活動を生み出すことで、イノベーションの創出や人中心の豊かな生活の実現を目指すものです。

秋葉原 TMO は、駅前の大規模開発を契機に、秋葉原に愛着を持ち、持続的発展を願う地域の方々、事業者、そして行政が、地域の課題に対応し、地域資源を活用しながら、まちの魅力を高めていくために立ち上げた組織です。これまで、地域の方々をはじめ各関係機関と連携しながら「まちを守る事業」「まちを活かす事業」を展開してきましたが、それらは全て「居心地の良さ」ひいてはウォーカブルなまちづくりにつながるものだと思っています。

私たちは、異文化が共存し合う「世界のアキバで居心地の良い空間をつくる」ことをパーパスとして掲げ、これからもアキバに愛着を持つ皆様とともに一歩ずつ歩んでまいります。

秋葉原 TMO 一同



昭和期の秋葉原



歩行者天国の開始



歩行者天国の再開

1968

1973

2011

2023



現在の秋葉原



# まちの変化と秋葉原 TMO 設立

## 秋葉原 TMO ができるまで

秋葉原は、都内でも重要な交通結節機能を有し、「青果市場のまち」として、また、電子部品、ラジオ、家電、オーディオ、パソコン、ソフトと、常に時代をリードする「電気のまち」として、発展を遂げてきました。

交通の結節点、物流の中心地として発展してきたこのまちも、物流システムの変革や都心における大規模な土地利用転換などにより、秋葉原貨物駅は廃止、神田市場も移転するなど、駅前に約 6ha という都内でも有数の大規模用地が発生しました。このことをきっかけに秋葉原地域では、まちの再編に向けての議論が始まりました。

## 1970-80 年代

### 物流システムの変革や土地利用の転換によって誕生した大規模用地

- 1975- 秋葉原貨物駅廃止
- 1989- 青果市場、大田区へ移転



1968 年の秋葉原

## 1990 年代

### まちづくりの気運が高まり進められた都市基盤整備

- 1993- つくばエクスプレス秋葉原乗り入れ決定
- 1994- つくばエクスプレス事業開始
- 1996- 秋葉原駅付近土地区画整理事業 都市計画決定・告示
- 1997- 秋葉原駅付近土地区画整理事業 事業計画決定
- 1998- 秋葉原駅付近地区 地区計画 都市計画決定・告示
- 2000- 仮) IT センタープロジェクト事業者決定



つくばエクスプレス秋葉原駅

## 2000 年代

### 駅前の大規模開発によって生まれたまちづくりの芽

- 2001- 秋葉原地区まちづくりガイドライン策定
- 2002- A テーブル発足
- 2005- クロスフィールド（ダイビル）竣工
- 2005- つくばエクスプレス（TX）開通
- 2005- ヨドバシ Akiba 店オープン
- 2006- クロスフィールド（秋葉原 UDX）竣工
- 2006- 秋葉原クロスフィールドグランドオープン



駅前大規模開発

### まちづくり推進協議会（通称：A テーブル）

秋葉原貨物駅の廃止や神田市場の大田市場への移転によって、秋葉原駅前に約 6ha の大規模用地が発生。この駅前での大規模開発は、各事業者がそれぞれの考えで個別に展開したのでは、魅力あるまちにつながらないため、地元町会や地域団体、開発事業者、行政が一つのテーブルについて、情報を共有しながら、連携・協力のまちづくりを進めるために千代田区が中心となり協議会を設置。

A テーブルの由来： 秋葉原の頭文字の A  
「1つのテーブルを囲む」を意味する A

#### 地元町会・団体

- ・地元 6 町会
- ・街づくり推進連合
- ・再開協議会
- ・東部商店会

#### 開発事業者

NTT 都市開発、ダイビル、鹿島建設、ヨドバシカメラ、レールシティ東開発、富士ソフト ABC、阪急電鉄、オリックス、東京青果、つくばエクスプレス



#### 行政

- ・千代田区まちづくり推進部/環境土木部/政策経営部
- ・東京都都市整備局/産業労働局

※組織名称は 2002 年当時のもの

秋葉原 TMO の誕生！まちによるまちのためのまちづくりがはじまる

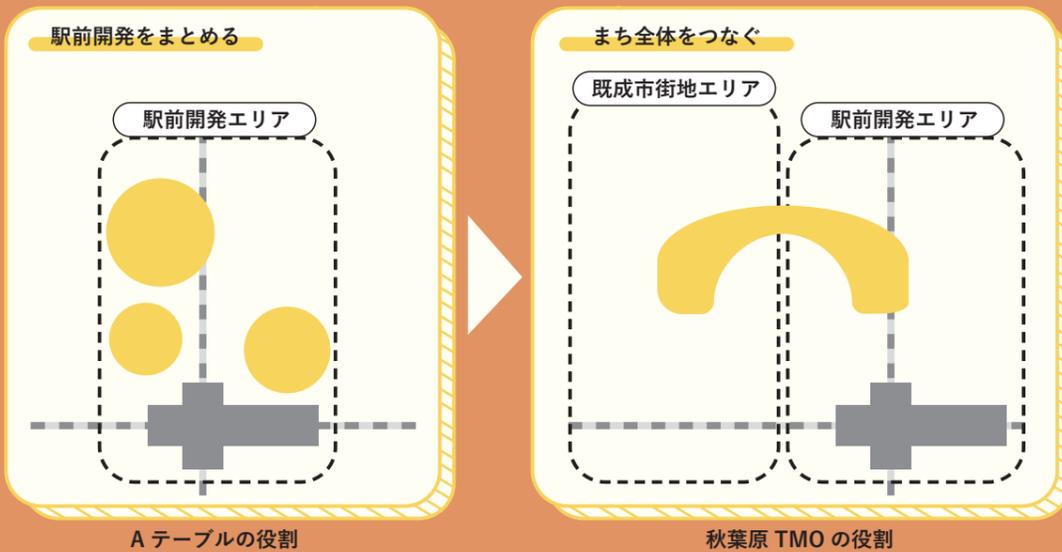
2006- 秋葉原タウンマネジメント組織設立準備会発足

2007- 秋葉原タウンマネジメント法人設立

秋葉原 TMO の設立

A テーブルでの協議を踏まえながら、都市基盤の整備やつくばエクスプレスの開業、大型ビルの竣工など、開発の全容が見えてくる中、開発から開発後のまちのあり方について議論が展開。

開発によって吹き込まれた息吹を枯らすことなく、まちの維持・発展につなげていくため、まちを面的に管理・運営していく組織として秋葉原 TMO が誕生。



会社概要

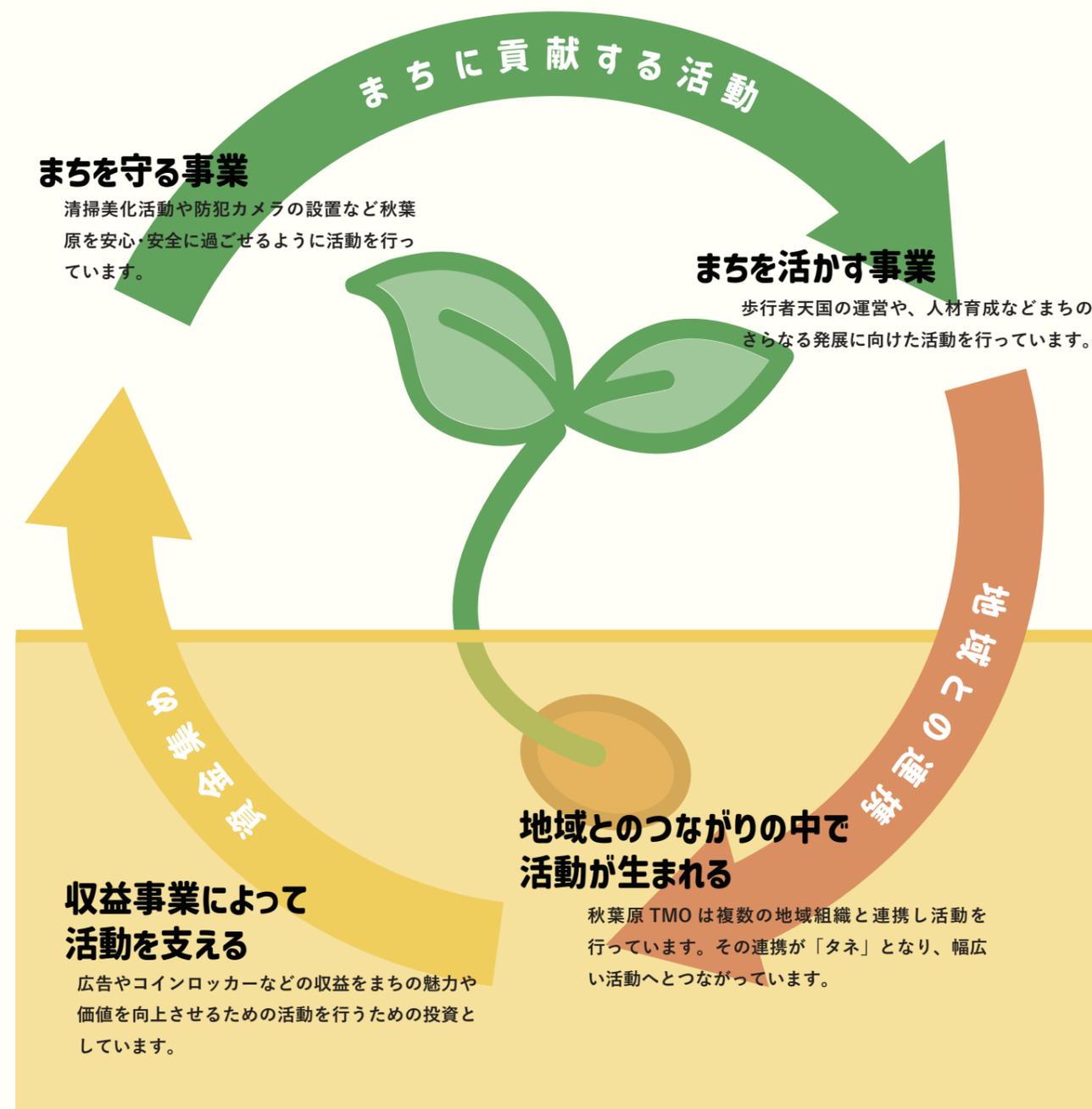
名称	秋葉原タウンマネジメント株式会社
本社所在地	〒101-0021 東京都千代田区外神田 3-13-2 秋葉原 TMO ビル
設立	2007年(平成19年)12月10日
資本金	6,490万円

秋葉原 TMO の事業原則と運営の仕組み

持続的にまちを支える事業を動かす考え方

まちは「人與人」「人とのもの」「ものとのもの」それぞれがお互いに情報を持ち、つながり、共有しあつて発展していきます。それが魅力となり、価値として形成されていきます。このつながりを醸成する場所こそが「まち」であるという考えです。

そして秋葉原のまちの魅力・価値を向上させていくお手伝いが秋葉原 TMO の事業です。株式会社として自主自立するための収益活動を行いながら、利益はさらなるまちの魅力・価値向上のために投資していくこと。それが秋葉原 TMO の事業原則です。



概要編 p.1-2 まちの特性 p.3-4 TMO パーパス p.5-6 TMO 活動マップ p.7-8 まちの組織 p.9 TMO ビジョン  
詳細編 p.13-15 TMO 設立経緯 p.16 TMO 事業原則 p.17-22 TMO 事業詳細 p.23-24 事業連携体制

概要編 p.1-2 まちの特性 p.3-4 TMO パーパス p.5-6 TMO 活動マップ p.7-8 まちの組織 p.9 TMO ビジョン  
詳細編 p.13-15 TMO 設立経緯 p.16 TMO 事業原則 p.17-22 TMO 事業詳細 p.23-24 事業連携体制

# 秋葉原 TMO の活動

## 4つの事業

秋葉原 TMO は、事業原則を基に、地域の方々をはじめ各関係機関と連携しながら「まちを守る事業」、「まちを活かす事業」、「収益事業」に取り組んでいます。

### 美観推進

まちの美観を守るため、ボランティアの方たちと清掃活動等に取り組んでいます。

### 交通治安維持

安全で安心なまちづくりのため、治安維持活動等に取り組んでいます。

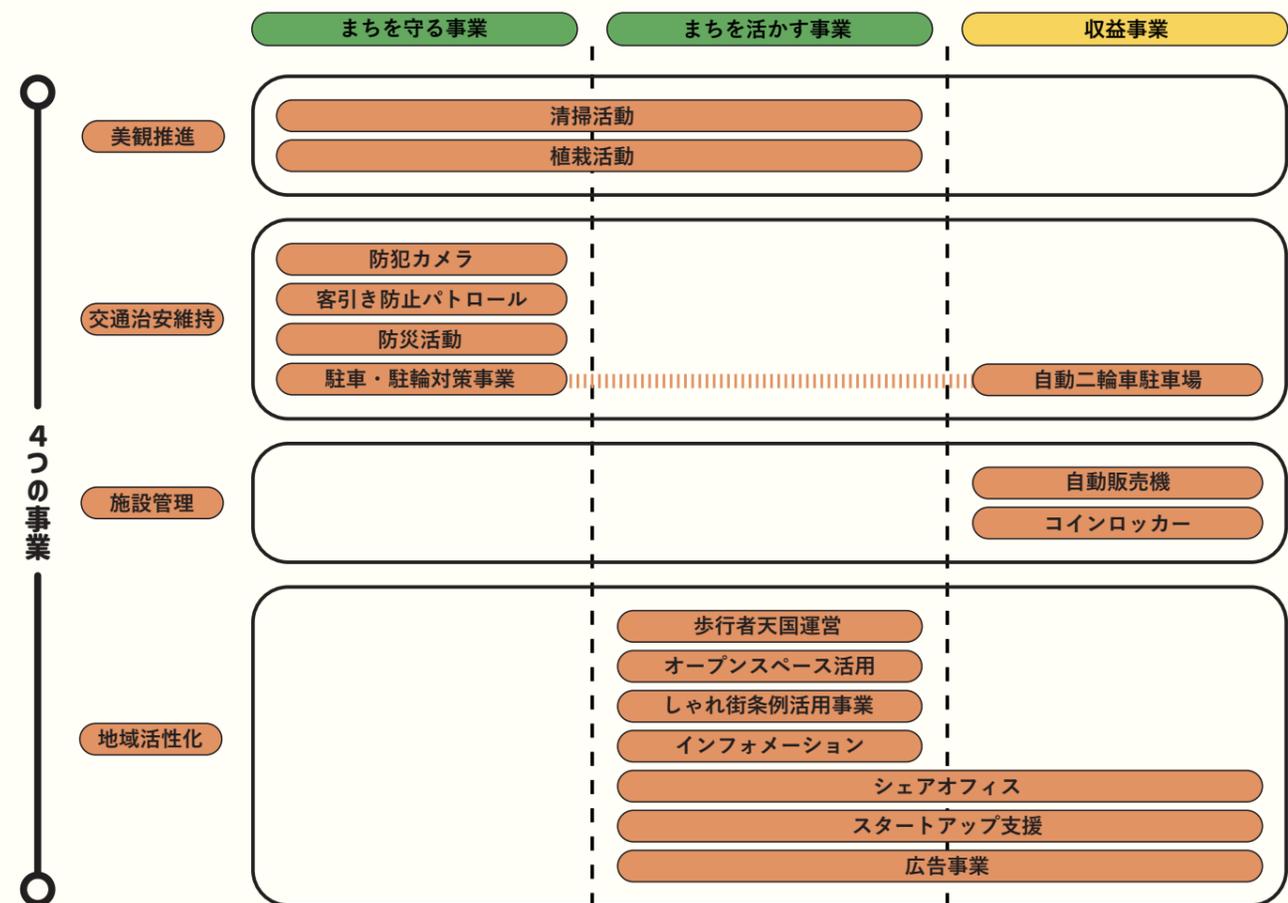
### 施設管理

来街者の利便性向上やまちの美化推進を目的として施設運営に取り組んでいます。

### 地域活性化

まちの魅力向上のため、公共空間を活用したエリア広告等に取り組んでいます。

### 運営のしくみ



## 美観推進事業

キレイなまちは自然と訪れたいものです。美観推進事業では、ボランティアを中心に有志で活動する「AkibaSmile！」事業や定期的な植栽活動を行っています。まちに興味を持つ第一歩として、その活動は確実に実を結んでおります。

平成19年12月の会社設立時から、地域関係者、就労者、来街者等のボランティアによる清掃活動を継続して実施しています。歩行者天国が実施される毎週日曜日には、秋葉原中央通りを中心に駅周辺や細街路等の清掃活動を行い、まちの美観推進に貢献しています。また、千代田区の生活環境条例に伴い設置された「秋葉原駅周辺地区生活環境改善推進連絡会」の一員として、地域の方々と共に、定期的な清掃活動や路上喫煙者に対する注意・指導、啓蒙活動などを行っています。



### 清掃活動

秋葉原 TMO・千代田区・開発事業者など  
毎週日曜日の歩行者天国実施時に、秋葉原中央通りをメインにゴミ拾い活動を行います。“私の手で秋葉原をキレイに！”という思いのもと、ボランティアや地域の方たちと活動しています。ポイント制度は秋葉原に愛着を持って頂けるよう設定、これまでに6,000名を超える方が参加しています。



清掃活動の様子

### 植栽活動

秋葉原 TMO・千代田区  
秋葉原駅西側広場を中心にプランター等への植栽と清掃を定期的に行っています。また不定期で、有志による植栽活動をイベント形式で実施しています。一度きりではなく、植えた後も定期的に水やりを行うなど、草花を大切に見守り、管理しています。



西側広場における植栽活動

## 交通治安維持事業

まちの安全・安心は、居心地の良い空間づくりの基本です。安全・安心のまちづくりに向けて、交通環境の改善、治安維持、災害時の帰宅困難者支援に取り組んでいます。



客引き防止パトロール  
(活動範囲全域)



防犯カメラ

自動二輪車駐車場 10 台  
(ハウスアキバ跡地)

自動二輪車駐車場 17 台  
(万世橋橋詰)



帰宅困難者支援  
(活動範囲全域)

秋葉原駅

### 防犯活動

秋葉原 TMO・アキバ 21 「秋葉原地域連携協議会 (アキバ 21)」の事務局として、防犯活動や防犯カメラの設置・管理、客引き防止パトロールの運営を担うなど、地域活動団体を支えながら、まちの安全・安心に取り組んでいます。



客引き防止パトロール

### 防災活動

秋葉原 TMO・帰宅困難者地域協力会 災害時の帰宅困難者を支援する目的で設置された「秋葉原駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会」の事務局として、無線通信訓練や防災研修会、外国人の避難誘導も視野に入れた帰宅困難者対応訓練など、地域防災力の向上に向けた取り組みを進めています。



防災訓練の様子

### 駐車駐輪対策

秋葉原 TMO・千代田区 駐車場の位置や利用時間、満空情報などをホームページや案内板等に情報発信する駐車場案内システムの管理運営を行うとともに、万世橋の橋詰等で自動二輪車の駐車を整備し運営するなど、地域交通の環境改善に努めています。



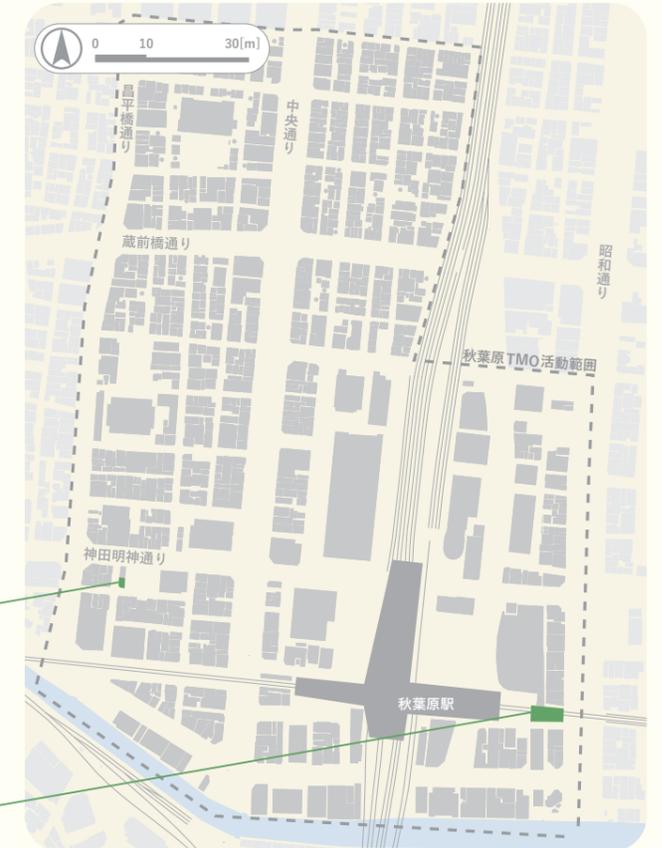
駐車場案内システム

## 施設管理事業

秋葉原を訪れる人々が、快適に観光や買い物を楽しむための利便性や、秋葉原を生活圏とする人々の快適性、広場内の環境美化の向上を目的として、秋葉原駅東口広場とハウスアキバ跡地に、コインロッカー及び自動販売機を設置しています。ここで得られる販売収益は、秋葉原地域の安全・安心への取り組みや清掃などのまちの美観推進に活用しています。

コインロッカー：小 20 個 / 中 6 個  
自動販売機：2 台  
(ハウスアキバ跡地)

コインロッカー：小 82 個 / 中 19 個 / 大 12 個  
自動販売機：6 台  
(秋葉原駅東口広場)



### コインロッカー・自動販売機



ハウスアキバ跡地



秋葉原駅東口広場

# 地域活性化事業

地域活性化事業とは、まちのフィールドにあるさまざまなポテンシャルを活用して、より魅力ある秋葉原にするためのお手伝いをする事業です。人が・ものが・情報が・ありとあらゆるリソースがつながって、より魅力的なコンテンツが生み出される橋渡しをすることが秋葉原 TMO の目標です。



## 歩行者天国の運営

アキバ 21

「秋葉原地域連携協議会（アキバ 21）」の事務局として、秋葉原中央通り（万世橋交差点～末広町交差点）で、毎週日曜日に行う歩行者天国の運営を担っています。



歩行者天国

- ・ 情報収集、関係者間の連絡調整
- ・ 周知看板等の設置・撤去
- ・ 歩行者天国内の巡回・監視
- ・ 防犯パトロール
- ・ 道路清掃

## しゃれ街条例活用事業

秋葉原 TMO

東京都は、公開空地等において、賑わい創出など都市の魅力向上に向けた活動を行う団体に対して、条例で登録制度を設け、その活動の支援を行っています。秋葉原 TMO は、地域の窓口として条例に基づく「まちづくり登録団体」となり、開発により整備された複数の公開空地が有効に活用されるよう協議・調整を行っています。



公開空地活用の様子

## オープンスペースの活用

秋葉原 TMO

イノベーションの創出や人中心の生活の質を高めるため、地域に存在するパブリック空間、沿道建物、地域の歴史や文化、まちなかの活動、空間の設えといった官民の地域資源を活用し、居心地の良い「滞留」しやすい空間、歩いて楽しい「回遊」しやすい空間づくりを進めてまいります。

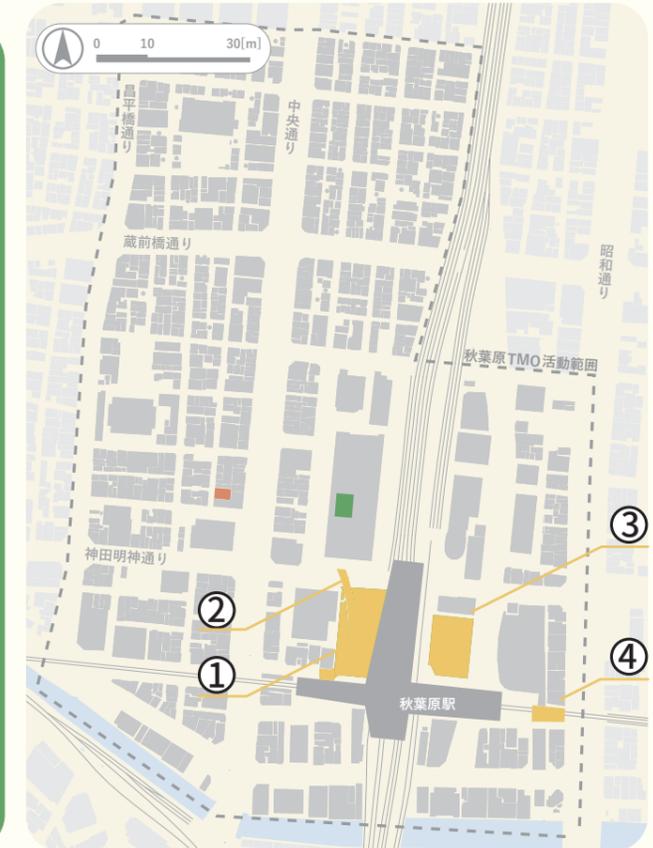
## インフォメーション

秋葉原 TMO

秋葉原 UDX 2 階でアキバインフォを運営しています。来街者に対し、まちや店舗の情報、公共情報、イベント情報等の発信を行っています。また、ここで来街者等のニーズを収集し、情報媒体等に活かすことによって、利便性の向上につなげています。



インフォメーション



## シェアオフィス（スタートアップ支援）

秋葉原 TMO

築古ビルをリノベーションして再生し、シェアオフィスとして運営しています。このシェアオフィスを活用し、秋葉原 UDX 内のシェアオフィスとも連携しながら、企業のスタートアップを支援しています。



シェアオフィス

## 広告事業

秋葉原 TMO

駅前広場等の公共空間に広告媒体を整備し、販売提供しています。掲出実績は地元企業からナショナルクライアントまで幅広い利用があり、まちの景観づくりにも役立っています。また、地の利を活かした広告内容は、秋葉原のさらなる魅力を生み出すコンテンツとしても機能しています。



① 西側広場



② UDX デッキ部



③ 東側広場



④ 東口広場

概要編 p.1-2 まちの特性 p.3-4 TMO パーパス p.5-6 TMO 活動マップ p.7-8 まちの組織 p.9 TMO ビジョン

詳細編 p.13-15 TMO 設立経緯 p.16 TMO 事業原則 p.17-22 TMO 事業詳細 p.23-24 事業連携体制

概要編 p.1-2 まちの特性 p.3-4 TMO パーパス p.5-6 TMO 活動マップ p.7-8 まちの組織 p.9 TMO ビジョン

詳細編 p.13-15 TMO 設立経緯 p.16 TMO 事業原則 p.17-22 TMO 事業詳細 p.23-24 事業連携体制

# まちの組織と秋葉原 TMO

秋葉原地域には、各町会やそれらを統合する連合町会、商店街、業界団体等があり、さまざまな地域活動を続けています。秋葉原 TMO は、こうした地域活動団体の事務局として、組織運営の中核を担いながら、それぞれの地域活動を支援しています。

## TMO が事務局として運営している組織

### 秋葉原地域連携協議会「アキバ 21」

「誰もが安全で安心してまち歩きを楽しめ、買い物ができるまち」の実現に向けて、多様な組織・団体が連携して安全・安心のまちづくりに取り組むことを目的に設立。

#### 活動内容

- ・歩行者天国の運営
- ・歩行者天国実施日の中央通りの清掃
- ・歩行者天国実施日の中央通りの防犯パトロール
- ・防犯カメラの設置・管理 55 台（2023 年現在）
- ・外神田地区客引き防止パトロール（第 3 水曜日／月）



歩行者天国でのパトロール

#### 構成メンバーと秋葉原 TMO の役割



秋葉原 TMO は事務局として、会員相互及び、千代田区をはじめとする各関係機関との協議・調整、補助金の申請、各委員会の運営など多岐にわたる業務を担っている。

#### 協議会内の委員会

歩行者天国運営委員会 / 防犯カメラ管理運用委員会 / 客引き防止パトロール暫定実施委員会

### 秋葉原駅周辺地区帰宅困難者対策地域協力会

秋葉原駅周辺地区における震災発生時の帰宅困難者の支援体制を構築し、その周知を図るとともに、震災発生時に円滑かつ効果的な帰宅困難者の支援対策を推進するため設置。

#### 活動内容

- 平常時
- ・帰宅困難者対策を事務所防災計画に位置付
  - ・家族、従業員、顧客等の安否確認方法の検討
  - ・水、食料等の備蓄計画の検討
  - ・被害情報や道路交通情報の入手手段確保の検討
  - ・帰宅困難者対策訓練の実施
- 災害時
- ・家族・従業員・顧客等の安否確認
  - ・被害情報や道路交通情報の入手・周知



防災訓練

#### 構成メンバーと秋葉原 TMO の役割



秋葉原 TMO は事務局として、会員相互及び、千代田区をはじめとする各関係機関との協議・調整、無線訓練、研修会、防災訓練等の多岐にわたる業務を担っている。

## アキバ 21 と連携のあるプロジェクト

### AKIBA 安全・安心プロジェクト

「安全・安心で活気あふれる秋葉原の実現」と「みんなの目で秋葉原を見守る」を目的に、行政が主導するプロジェクトで地域と連携し複数の活動を効果的に推進する。アキバ 21 が主導する客引き防止パトロールは、当プロジェクトの一環として位置づけられている。

#### 活動内容

- ・広報啓発活動
- ・委託警備員の配置強化
- ・AKIBA 安心・安全協定の策定
- ・研修会の実施
- ・事業者への働きかけ
- ・生活環境改善指導員の運用

## TMO が構成員として参加している組織

### 秋葉原駅周辺地区生活環境改善推進連絡会

「千代田区生活環境条例」に基づき、町会や商店街・企業など地域を構成する人々が環境美化・浄化を推進するために設立。

#### 活動内容

- ・多言語のチラシによる生活環境改善啓発
- ・のぼり旗、置き看板等の移動撤去指導
- ・路上喫煙者への注意、指導
- ・吸い殻、空き缶、ごみの清掃
- ・神田川の水質確認

# あなたとともに、誰もが居心地良く過ごせるまちをつかっていく

秋葉原は、いつも「新たなものに出会えるまち、発見できるまち」として、時代を通して、人と人が出会い、新たな文化が生まれ、まちの魅力を高めながら発展してきたまち。  
新たな出会い・交流を通して、まちを知り、まちの魅力を高め、発信しながら、ともに歩いていきませんか。

世の中にない新しいものが生まれるまちへ

変化を受け入れてきたまちの特性を活かして

歴史と発展の新旧融合へ

温かみを感じるまちづくりを

アイデアを形にできるまちに

"世界のアキバ"として、さらなる発展を目指して

0から1を創る Creator の集うまちに

それぞれの興味や感性を自由に出せる懐の深いまちに

古くていいものが愛されるまちへ

アキバに出会う、アキバと歩む。

ワクワクする Creative Field を安全に保ちたい

